

新春 年頭のごあいさつ



寄居町議会議員
大久保博幸



寄居町長
津久井幹雄

明けましておめでとうござい
ます。皆様には、健やかに、新
春を迎えられたことと、心より
お慶び申し上げます。
また、日頃から、町政の運営
に対し、温かいご支援、ご協力
を賜り、心からお礼申し上げます。
さて、昨年は、統一地方選挙
をはじめ、参議院議員通常選挙
埼玉県知事選挙等が行われ、寄
居町においては、選挙後、定数
16人による新議会が構成されま
した。また、国においては政治
状況が大きく変動した年であり
ました。
さらに、年金問題や様々な食
の偽装問題等が発覚し、「信頼」
という意味が改めて問われた年
でもあり、昨年の世相を表す漢
字は、「偽」でありました。行政
を預る者として町民の皆様の信
頼の大切さを再認識し、決意を
新たにいたしましたところであります。
町を取り巻く状況を振り返っ
てみますと、平成12年の地方分
権一括法の施行以来、権限委譲、
財源移譲が進められてきており

ます。
平成19年4月には地方分権改
革推進法が施行され、第Ⅱ期分
権改革が本格的にスタートしま
した。
埼玉県においては、平成20年
度から22年度までを期限とする
「第二次埼玉県権限委譲方針」
を策定しており、一層、町への
権限と財源の移譲が進むことが
予想され、町の果たす役割がま
ずますます重要になってくると考え
られます。
このような状況の中で、長年
の懸案でありました本田技研工
業(株)寄居新工場の起工式が行わ
れ、着工し、本年中には建物工
事も始まります。いよいよ、平
成22年4月の第一期の操業に向
け、目に見える形で大きく動き
出しましたことは、大変喜ばし
いことであり、寄居町の町づく
りにとって大きな明るい兆しで
あると考えております。安全な
工事の進ちょくを祈念するもの
であります。
今後は、この事業を絶好の町

づくりの機会ととらえ、機を逸
しないよう、職員と一丸となっ
て、町づくりをまい進する覚悟
であります。
また、工場操業に間に合わせ
るよう、関連する事業の推進を
図るとともに、工場が立地され
ることにより影響を受ける交通
体系や上下水道の整備について
も、遺漏の無いよう、事業を進
めていく所存でありますので、
引き続き皆様のご支援ご協力を
お願い申し上げます。
一方、昨年は、スポーツの分
野において、町民の方の全国障
害者スポーツ大会への出場をは
じめ、寄居町の子供たちが、ス
ポーツ少年団の全国野球大会へ
の出場や駅伝等の各種陸上競技、
女子サッカーやラグビー等の各
種球技、柔道等各種目にわたり、
全国的に活躍いたしました。
少子化が叫ばれている中で、
寄居町の将来を担う子どもたち
が全国に羽ばたいていく姿をみ
て、あらためて感動いたしました。
さらに、文化の分野では、町

立図書館が埼玉県から表彰を受
けるなど、お陰をもちまして各
分野にわたり、順調に町政が運
営できたと考えております。
本年も、昨年以上に町民の皆
様が各分野で活躍されることを
期待するとともに、町政運営に
も万全を期して参りたいと考え
ております。
寄居町においては、「自然と
産業が調和する創造の町(寄居)」
を将来像に、平成19年度から第
5次寄居町総合振興計画に取り
組んでおります。
この計画は、平成18年度から
取り組んでいる第4次寄居町行
政改革大綱(寄居町新生チャレ
ンジプラン2006)を踏まえ、
新たな町づくりを目指すもので
あります。
近年の自治体を取り巻く状況
は大変厳しくなっておりますが、
今後も、町民の皆様と手を携え
て、町の将来像の実現に向け全
力を挙げて取り組む決意でござ
いますので、引き続き町民の皆
様の一層のご支援、ご協力をお
願い申し上げます。
結びにあたり、輝かしい新年
が、町民の皆様にとりまして、
夢と希望に満ちたすばらしい一
年となりますようご祈念申し上げ
、念頭のごあいさつといたし
ます。

町の将来像の実現に向け 全力をあげて取り組みます。

皆様方の期待にこたえるよう 最大の努力をしてみたいです。

新年あけましておめでとうご
ざいます。
皆様には、健やかに新春を迎
えられたことと心よりお慶び申
しあげます。
私は、昨春執行されました寄
居町議会議員選挙後におきまし
た5月の臨時議会におきまし
て、議員各位のご推挙をいただ
き議長という大役を仰せつかり
ました。以来職務の重さを痛感
しつつ、公正公平な議会運営を
目指して誠実に努力してまいり
ました。お陰をもちまして、大
過なく新しい年を迎えられます
ことは、ひとえに皆様方のご支
援ご指導と、議員各位のご協力
の賜物と衷心より感謝申し上げ
ます。
昨年の年の初めに、平成19年
の干支「丁亥(ひのと)」につ
いて先輩からご指導をいただ
きました。「丁亥」の年とい
うのは、「新しい動きが地表近く
まで出てきて、今にも何かを生
もうとしているが、その表れ方
は今までにない画期的で爆発的

なものになる、変革か変革前夜
の年になる」ということでした。
国政の動きは、まさにそのよ
うな様相をしております。歴史
的に見ても吉田内閣から片山内
閣へ代わったのも、この年であ
ったようです。参議院選挙にお
ける民主党の大躍進によって、
ねじれ国会となり、安倍首相の
突然の退陣、福田首相の誕生、
小沢民主党代表の辞任騒動、防
衛省の不祥事等、何か大きな変
化がおきそうな予兆を見せてお
ります。
地方においても、三位一体の
改革が進むなかで、地域間格差
の拡大により、地方自治体の破
綻や破綻寸前の自治体の増加が
報じられております。二元代表
制をとる地方自治体の中で、首
長や議員の果たすべき役割は、
以前にも増して大きくなってき
ていくことを痛感いたします。

に削減されました。定数減によ
り構成された議会の初年度であ
りました。皆様の負託にこたえ
られるよう、また、議会運営に
支障の無いよう委員会や特別委
員会のあり方等再度検討を始め
たところであります。
様々な変化の動きを感じる中
で本田技研工業(株)寄居新工場も
9月に起工式を行い造成工事が
始まりました。周辺でも下水道
本管理設工事や送電線架設工事、
水道工事、周辺道路整備工事等
が慌ただしく動き出しました。
用土に建設されるホンダ社員独
身寮も同様に動き始めました。
今期の議会でも「ホンダ工場立
地支援委員会」を全議員で立ち
上げ、関連企業の誘致や、周辺
整備等について、委員長を中心
に、様々な面から検討し鋭意取
り組んでまいりる所存であります。
また県営の最終処分場、彩の国
資源循環工場について検証する
ために、「第4次三ヶ山地域開
発調査特別委員会」を引き続き
設置いたしました。操業まもな

く一部工場から鉛流出という事
故があり設備改善で解消されま
したが、議会として今後も安心
安全確保に向けて注視してまい
ります。
町の重点施策である子育て支
援については、こども医療費窓
口払いの廃止に関する条例の一
部改正が6月議会に上程され可
決されました。10月より町内45
の医療機関で窓口払いが廃止に
なったことは、子育てをする親
にとっては朗報であったと思
います。また、子育て支援センタ
ーについては、現在寄居保育所
内に併設されておりますが、川
南へもう1箇所開設にむけて議
会としても鋭意検討を重ねてい
るところであります。そうした
中で、少年野球の全国大会出場
柔道や吹奏楽部の活躍等々、小
中学生の活躍が目立った年であ
りました。
以上、昨年を振り返って感じ
たままを申しあげましたが、今
年も「第5次寄居町総合振興計
画基本構想」及び「第2次寄居
町国土利用計画」の進ちょく状
況を見据えながら、皆様方の負
託にこたえるよう最大の努力を
してまいりたいと思っております。
最後になりましたが寄居町の
ますますの発展と、皆様のご健
勝とご活躍を心からお祈り申し
あげまして、年頭のごあいさつ
といたします。